

蔵王山の火山活動解説資料

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

< 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）が継続 >
蔵王山では、昨日（9 月 22 日）10 時 41 分頃と本日（23 日）08 時 59 分頃に火山性微動が発生しました。微動の発生後に火山性地震の増加はみられていません。
本日（23 日）実施した現地調査では、御釜や振子沢の状況及び丸山沢の噴気や地熱域の状況に特段の変化はみられませんでした。
2013 年から 2015 年にかけて、火山活動の高まりがみられました。その後も火山性微動が時々発生していますので、今後の火山活動の推移に注意してください。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1～図 5、図 8）

本日（23 日）実施した現地調査では、御釜及び御釜周辺に噴気及び地熱域¹⁾はみられませんでした。また、丸山沢の地熱域や噴気の状況、振子沢の状況は、前回（2016 年 8 月 23 日）と比較して特段の変化は認められませんでした。

遠刈田温泉（山頂の東約 13km）及び上山金谷（山頂の西約 13km）に設置している遠望カメラと刈田岳（御釜の南約 1 km）に設置している火口カメラでは、天候不良のため微動発生時の御釜や想定火口の状況は不明でした。

・地震や微動の発生状況（図 6～図 8）

本日観測された火山性微動の継続時間は約 2 分 23 秒、最大振幅（上下成分）は 1.5 $\mu\text{m/s}$ でした。火山性地震は、本日（9 月 23 日）は 16 時 00 分までに 1 回観測されました。

・地殻変動の状況（図 7）

傾斜計²⁾では今回の微動に対応する変動は見られませんでした。

1) 赤外熱映像装置による観測。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

2) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。

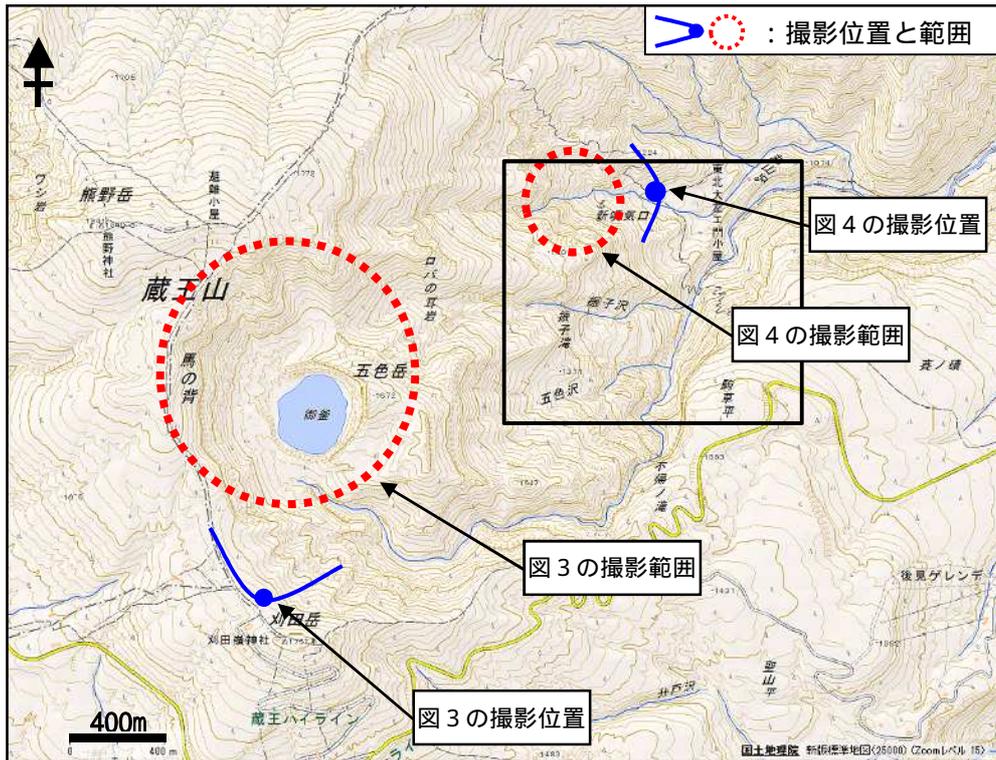


図1 蔵王山 御釜・丸山沢噴気地熱地帯周辺の写真と地表面温度分布¹⁾ 撮影位置及び範囲
 ・ 図中黒線領域は図2の範囲を示します。

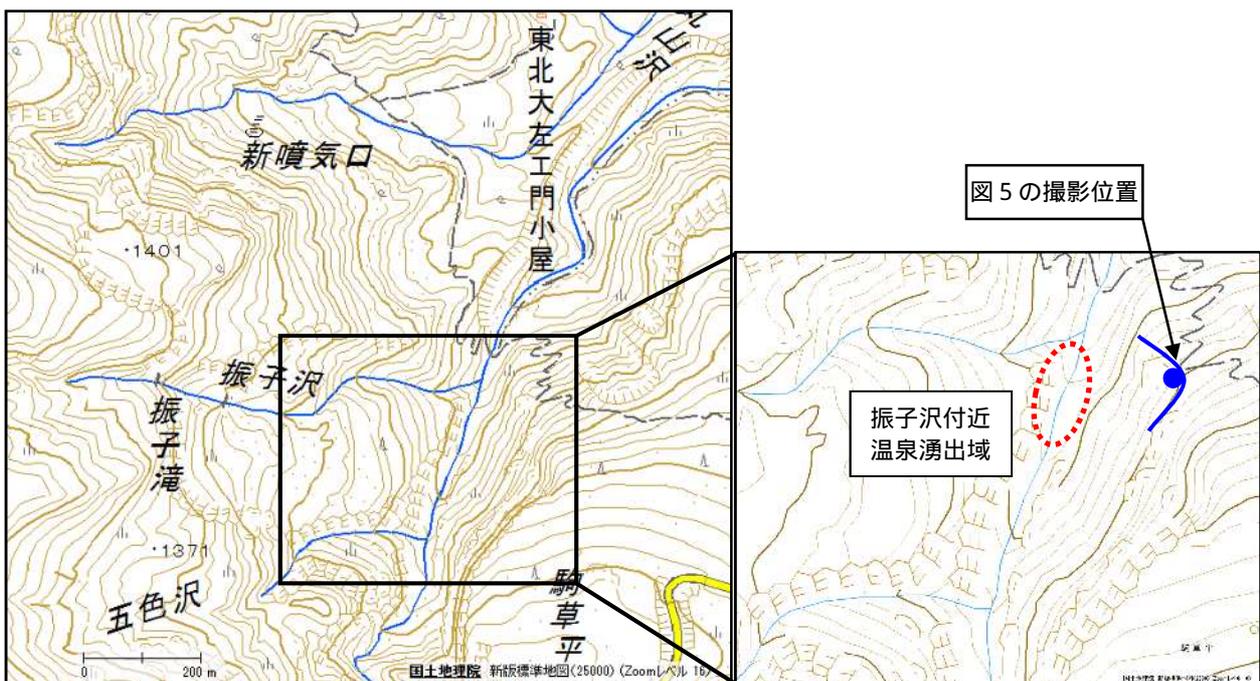


図2 蔵王山 振子沢（新関温泉跡）周辺の写真と地表面温度分布撮影位置及び範囲

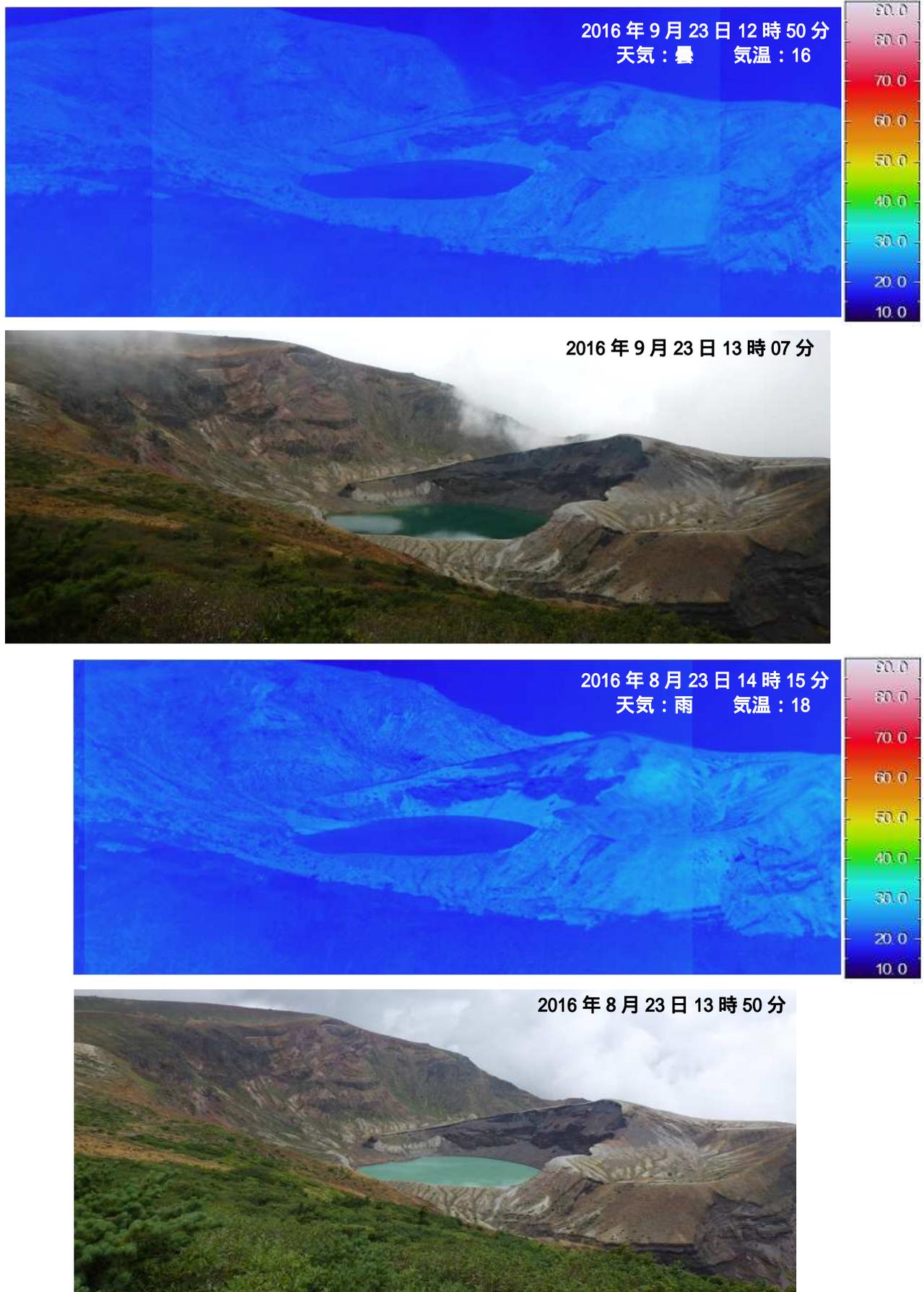


図3 蔵王山 御釜周辺の状況

・前回(2016年8月23日)と比較して、御釜周辺に噴気及び地熱域はみられませんでした。

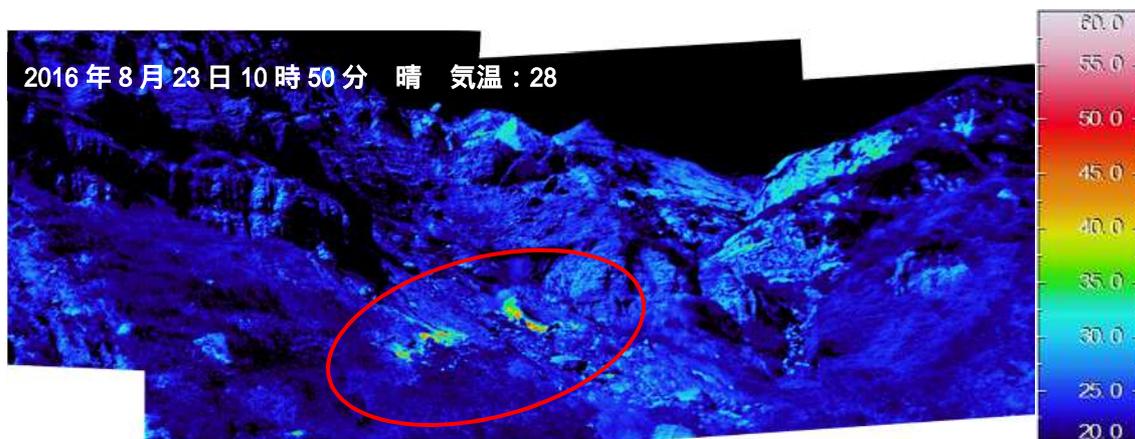
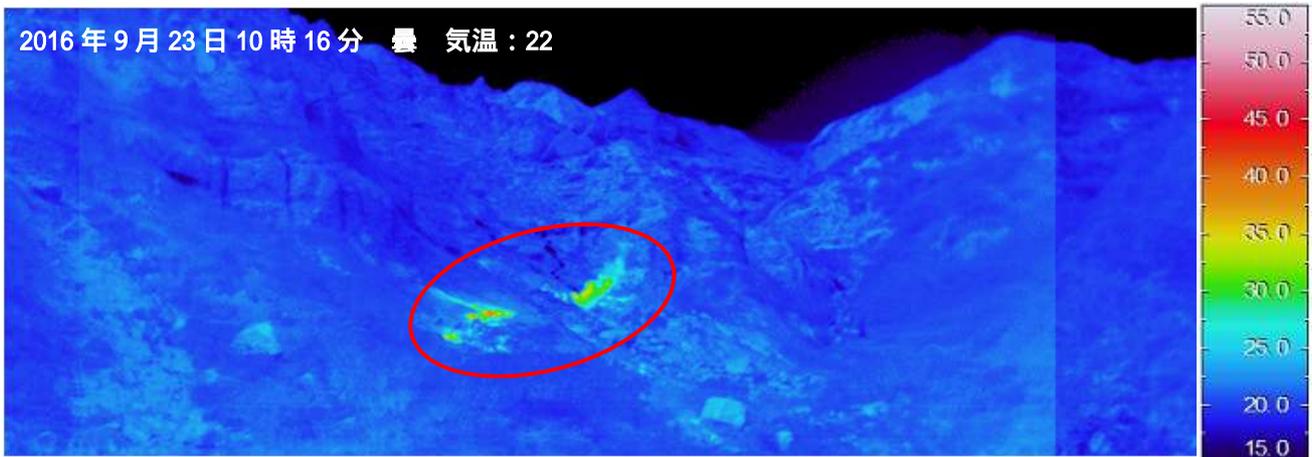


図 4 蔵王山 東方向から撮影した丸山沢の状況と地表面温度分布

- ・前回（2016 年 8 月 23 日）と比較して、地熱域（実線赤丸内）や噴気の状態に特段の変化は認められませんでした。
（ 周囲より温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。 ）

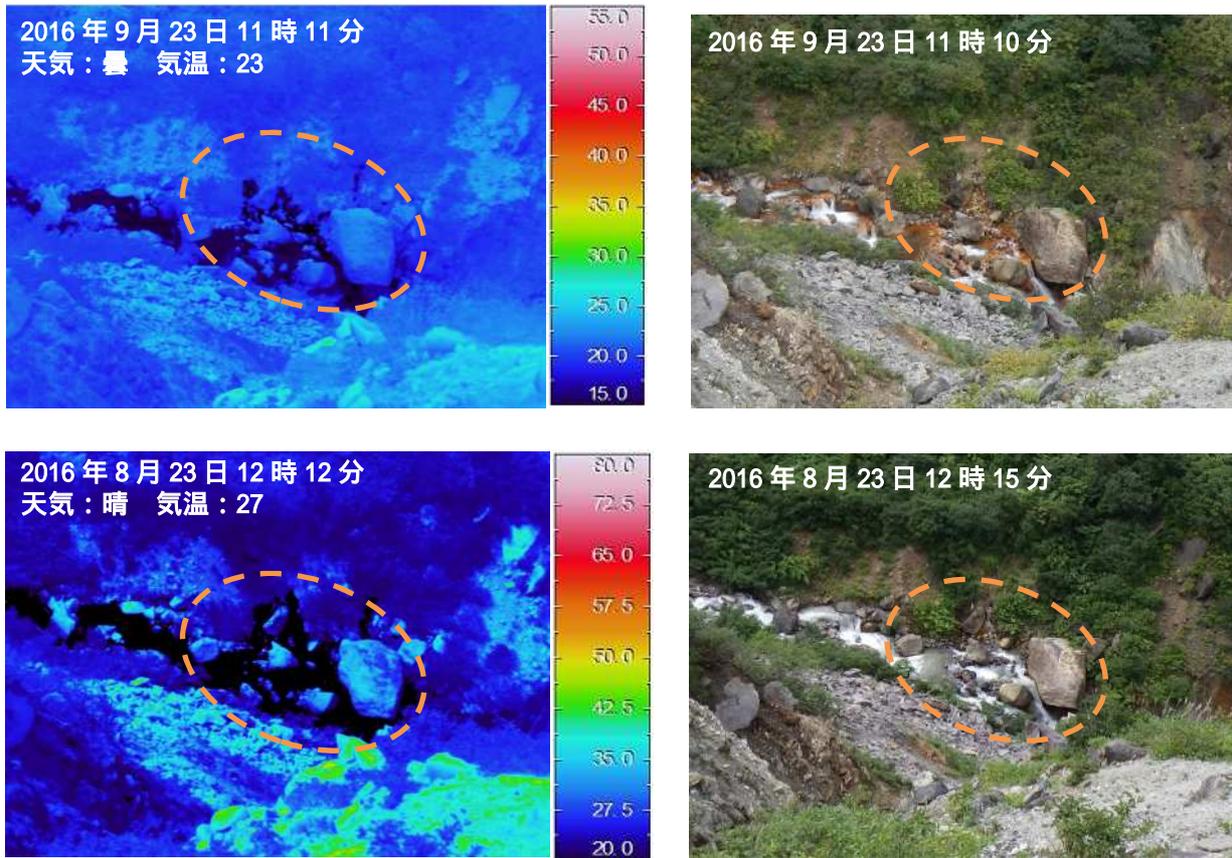


図5 蔵王山 振子沢付近の状況と地表面温度分布

- ・温泉湧出箇所（破線橙丸内）において、高温域は認められませんでした。
（ 周囲より温度の高い部分は、岩等が日射により温められたことによるものと推定されます。 ）

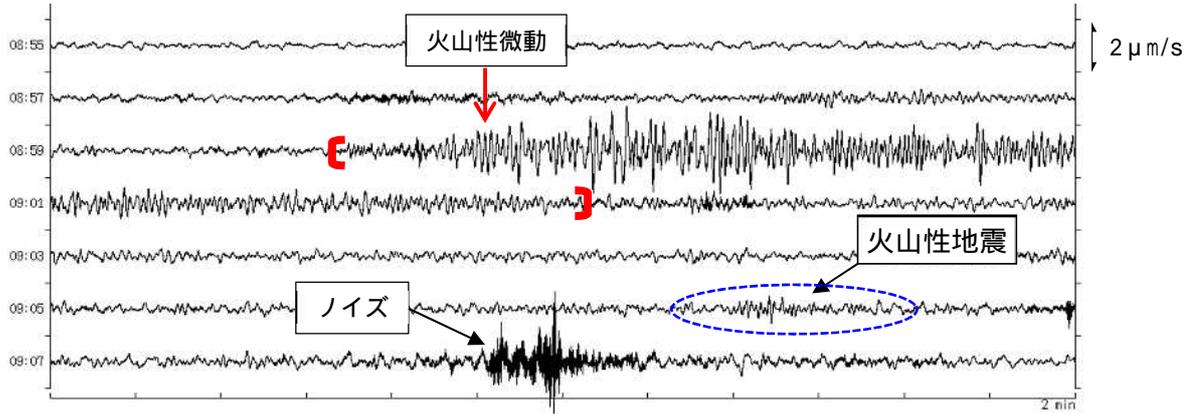


図 6 蔵王山 坊平観測点（上下成分）での火山性微動の発生状況

(2016 年 9 月 23 日 08 時 55 分～09 時 09 分)

- ・ [] は火山性微動を示します。最大振幅は $1.5 \mu\text{m/s}$ 、継続時間は約 2 分 23 秒です。

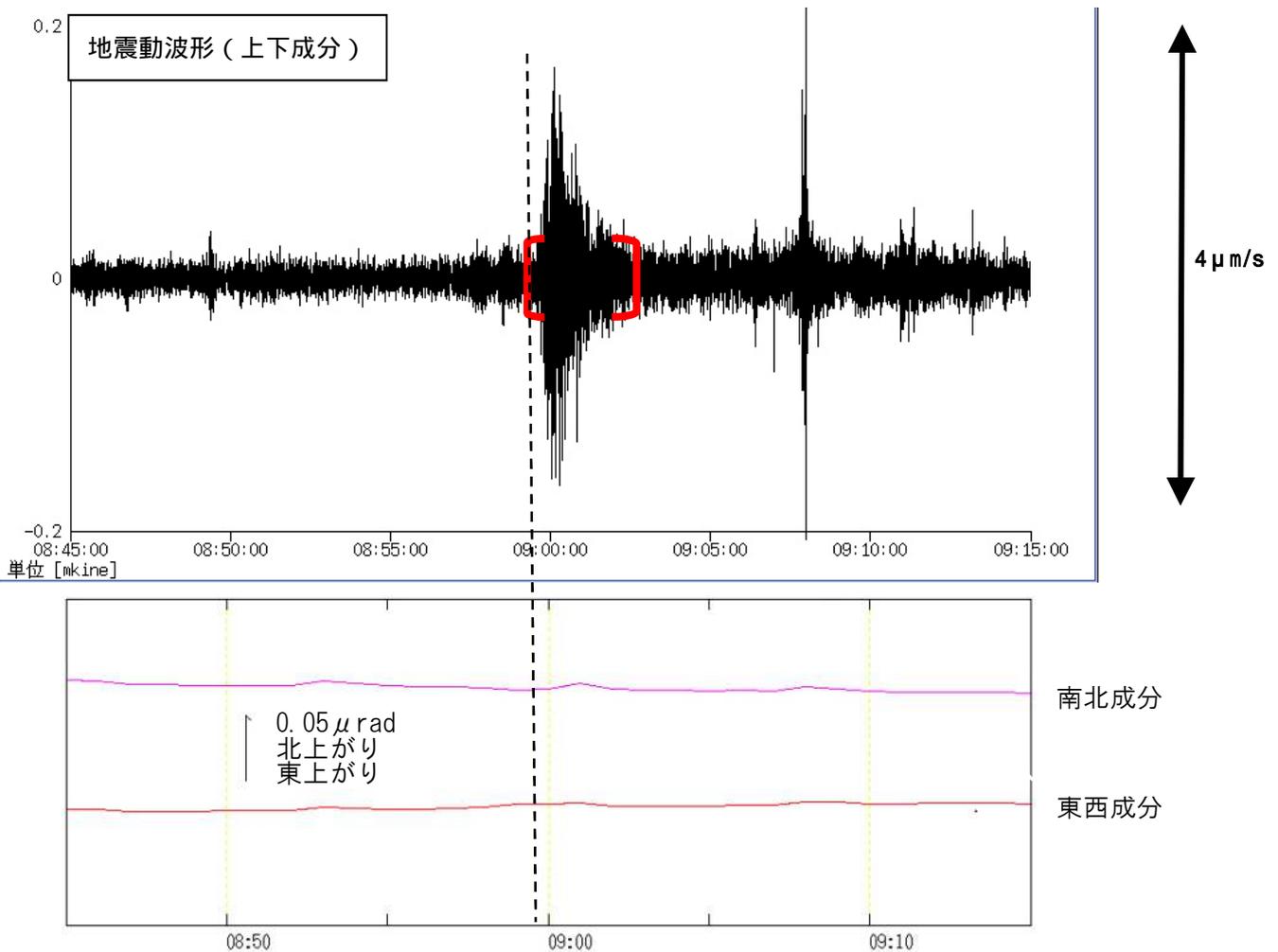


図 7 蔵王山 坊平観測点での火山性微動波形および傾斜変動

(2016 年 9 月 23 日 08 時 45 分～09 時 15 分)

- ・ 黒破線は火山性微動の発生時を示します。最大振幅は $1.5 \mu\text{m/s}$ 、継続時間は約 2 分 23 秒です。
- ・ 傾斜計では今回の微動に対応する変動は見られません。

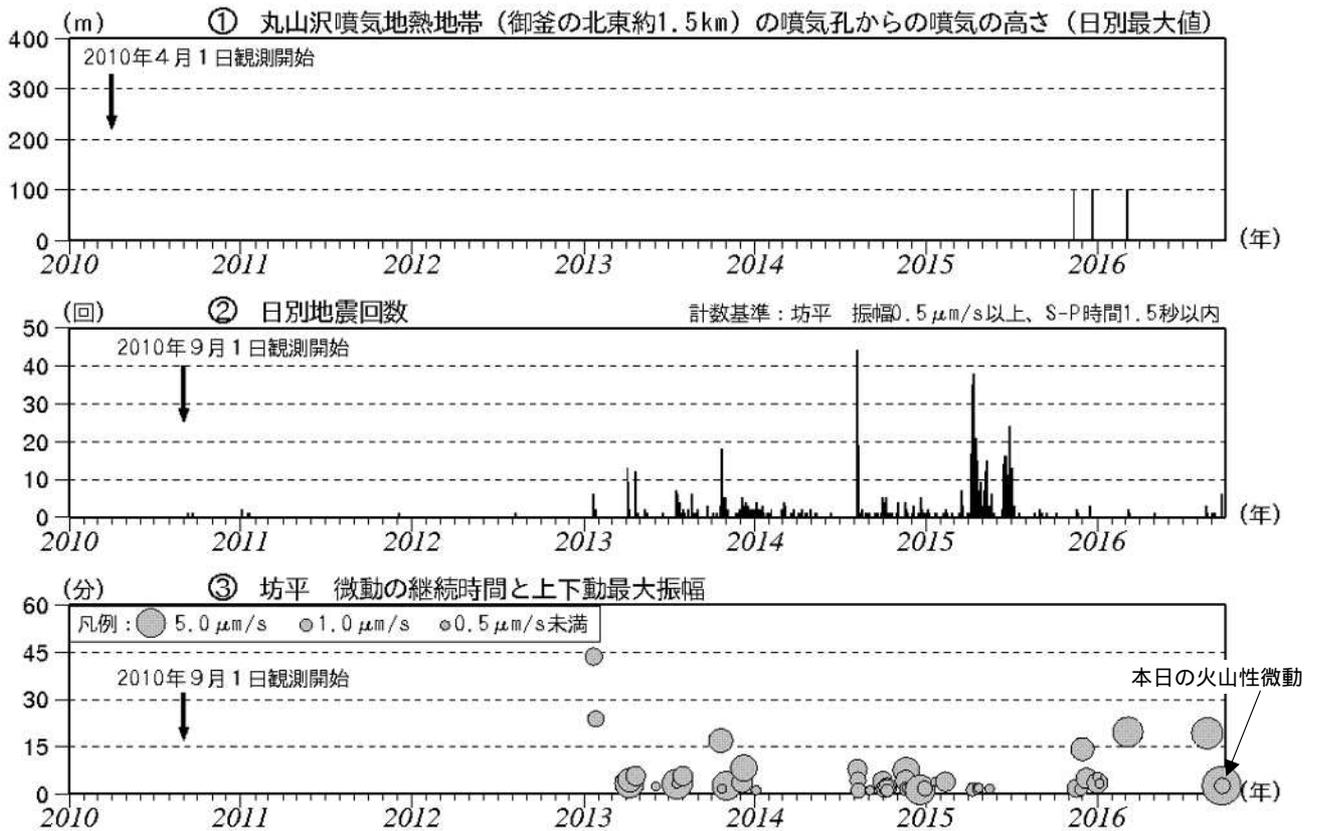


図8 蔵王山 火山活動経過図（2010年1月～2016年9月23日16時00分）

・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

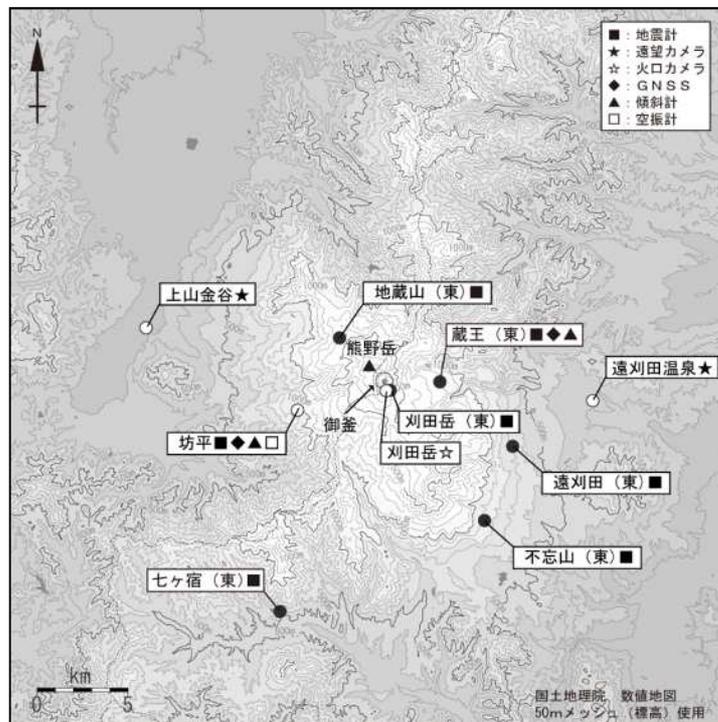


図9 蔵王山 観測点配置図

小さな白丸 () は気象庁、小さな黒丸 () は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東)：東北大学